

【補足説明】ESで質問される内容が”過去のことを聞いているのか”それとも”未来のことを聞いているのか”を確認します。
 さらに質問の種類を下の表から判断して、企業が見ているポイントを把握しましょう。見てるポイントがわかれば、良い返答がわかる!

過去に対する質問

どんな質問内容なのか	企業がこの質問で見ているポイント
◆何を手に入れたか確認する質問 <質問例> Q.過去の挫折経験とそこからの学び Q.今までで一番の成功体験は何か	【吸収力】 【成長力】 ◆企業の狙い:新卒はポテンシャル採用。現時点の能力より伸びしろをチェックしたい。 ◆返答のコツ:比較材料を入れて過去と未来を見せる。高低差をアピール!
◆どんな経験をしたか確認する質問 <質問例> Q.学生時代に力を注いだこと Q.あなたにとって一番の挑戦は何か	【行動力】 【行動特性】 ◆企業の狙い:新卒は最初わからないことの連続。そんな時どんな行動を取るか過去から予測したい。 ◆返答のコツ:苦労した話や失敗談を入れて乗り越える力強さをアピール!
◆目的や理由を確認する質問 <質問例> Q.意思決定をする際に気を付けていることは何か Q.過去の成功体験から、なぜそれが成功したのか理由を教えてください	【価値観】 【志向】 ◆企業の狙い:行動力や行動特性に影響を与える価値観や志向を確認して信用度を確かめている。 ◆返答のコツ:第三者効果を使って、信用度の高さをアピール!

未来に対する質問

どんな質問内容なのか	企業がこの質問で見ているポイント
◆目標や夢を確認する質問 <質問例> Q.入社後にやりたいことは何ですか Q.将来のキャリアビジョンを教えてください	【目的地が一緒なのか】 ◆企業の狙い:学生が思い描いている未来と自社の未来を重ねて、ズレていないかチェックしたい。 ◆返答のコツ:やりたい事が企業の守備範囲から外れないことが大事!
◆選択理由を確認する質問 <質問例> Q.同業他社ではなく、当社を選ぶ理由を教えてください Q.就職において重視している点は何か	【企業文化に合うか】 ◆企業の狙い:意思決定のプロセスを確認することで、より具体的にその人の価値観を知れる。 ◆返答のコツ:なるべく具体例を書くことで、企業の文化に合う印象を!